

がんばろう 末崎!

津波なんかに
負けない!

館報まつさき

第249号
平成27年8月20日
大船渡市立
末崎地区公民館
電話 (F兼) 29-2955

末崎の風土散策 (38)

～末崎の島と伝説について～ その1

半島状に海に突き出た末崎郷を、三方から囲んだ海岸は常に太平洋の激波が洗い、断崖・島・浜・奇岩・洞穴等千変万化の絶景を数キロにわたり展開しているが、この中から主なる島の言い伝えを拾ってみた。

末崎海岸にある島数 総数 119

うち主な島 17、呼称島 63、無名の島 39 (末崎郷土誌)

1 さんころばし

末崎と小友を結ぶ「小友トンネル」の入口近くの千代浜(ちょはま)に、海面から突き出るような小島(七曲の東方の袖千代浜)がある。この島は干潮により、またと無い海藻採り(しよい)の場所で、昔「おさん」と云う女がおり、この島でしよい(ヒジキ・コンブ・ワカメ・ノリ・フノリ等取ったり拾ったりする)をしているうちに、夢中になり波に足を攫われて海に転落し、遂に溺死してしまっただけでした。この事があってから、この島を「さんころばし」と呼ぶようになったと云う。(大船渡市史第4巻民俗編に島の記録はないが、高根島の伝説と考えられる)

2 女島(おなじま)

末崎城のある館ヶ崎の西に女島がある。門之浜湾の入口に大きな島ではないが、ひび岩・大岩・女岩・西ノ鼻と4つの島が集まって女島と呼ばれている。海岸から少し離れており、絶えず沖からの白波が岩肌を洗っている。「三陸気仙の地名物語」等によると、西館城(末崎城)の武田氏が頑強に抵抗し、奥方及び姫君達は助けたいと門之浜入口にある小島に避難させた。このことからこの小島を「女島」と呼ぶようになったと記述しているが、詳細は不明のようである。

末崎城に係わる過去の史実をみると、天正18年5月に「浜田争乱」があり、この戦いは気仙郡の旗頭・米崎城(館)主・浜田(千葉)安房守が太守葛西晴信に対する逆意から、地頭を督励し、気仙沼館山の長崎城(館)主熊谷掃部正長へ、1,000人の旗下をもって攻撃し、気仙沼地域で大乱戦となったが、敢え無く浜田側は敗退し、この争乱で参列した傘下の城(館)は滅亡し、末崎城の一族もそれぞれ南部の遠野・岩泉方面に落ち延びていったようである。従って、末崎城での実戦は行われず伝説のようにならぬ「女島」としての言い伝えと考えられる。(聖)



女島(おなじま)

平成27年度の末崎町敬老会は、9月13日(日)午前10時から正午まで末崎中学校体育館で開催される。敬老会の対象者は892人である。末崎町の人口は、1、536世帯、4、406人(平成26年12月31日現在)である。人口に対する75歳以上の方の割合は、大船渡市の中では、どうやら最も高いようである。末崎町と同程度の人口の赤碓町は800人、立根町680人の状況をみれば容易に想像できる。末崎町は長寿の町である。みなさん、長寿のDNAを持っていてるのである。また、温暖で風光明媚な所に住み自然とともにゆったりと暮らすに恵まれて健康によい食事をとっていることもその

要因のようにも思われる。人間の幸せは、何よりも健康で長生きし家族からも地域社会からも必要とされることだと いわれる。さて、敬老の日であるが、昭和23年7月「国民の祝日に関する法律」が制定されたときは、祝日のなかに敬老の日はなかった。昭和38年に「老人福祉法」が制定され、その第5条に9月15日を「老人の日」とし「ひろく国民が老人福祉について関心と理解を深め、かつ老人自らの生活向上に努める意欲を高めるような行事が実施されるように努めなければならない」とされた。その後、昭和41年6月、祝日に「建国記念日」が制定される際、「体育の日」とともに、

「多年にわたり社会に尽くしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う」として、かつてのように単に「老人の日」といわずに「敬老の日」として制定されたのである。その後また成人の日は1月15日に近い第二月曜日、海の日は7月20日に近い第三月曜日は、敬老の日が9月15日に近い第三月曜日、体育の日は10月10日に近い第二月曜日へと、日曜日に連動させずて連休とすることとされ今日に至っている。戦後70年の節目の年、多くの苦難を乗り越え、家庭を支え、社会に貢献し、今日の豊かな社会を築いてくださった諸先輩に心から敬意と感謝を申し上げるとともに長寿をお祝い申し上げたいと思います。

末崎町敬老会

9月13日

末崎中学校体育館

末崎町敬老会文化祭予定

末崎町敬老会

日時:平成27年9月13日(日)
場所:末崎中学校 体育館

末崎町在籍で75歳以上の方が対象になります。
後日、書面でご案内申し上げます。

末崎町民文化祭

期間:11月6日(金)～8日(日)
場所:ふるさとセンター
末崎中学校 体育館

作品の出展を募集いたします。
それに向けての準備をお願いします。
詳細につきましては後日、お知らせいたします。

☆デジタル公民館まつさき 9月活動の案内

当初予定していた9月活動(12・13日)は都合により26日(土)・27日(日)に変更して行います。

☆インターネットによる 情報発信の紹介 「まちおもいトーク」

内容はパソコン・ネットによる相談と志田豊繁さん(株式会社海楽荘代表取締役)を講師に第3回のまちおもいトークを予定しています。

☆ふれあいキッズデー

「ふれあいキッズデー」夏休みものづくり教室の記事と写真が公開になりました。
※アドレスは館報最下部に示すとおりです。

☆フェスブックの紹介

フェスブック公開グループ「デジタル公民館まつさきコミュニティ」も運営しておりますのでフェスブックをお使いの方は「いいね」や投稿をお願いします。
※アドレスは館報最下部に示すとおりです。

※アドレスは館報最下部に示すとおりです。

5月活動と7月活動の志田仁さん(碓石地区在住)、滝田松男さん(平林仮設在住)、村上誠二さん(広田町長洞地区在住)の動画映像が7月末公開になりました。

※裁縫道具をお持ちください。

期日	時間	場所
9月12日(土)	13時～16時	ふるさとセンター
9月26日(土)	13時～16時	ふるさとセンター

